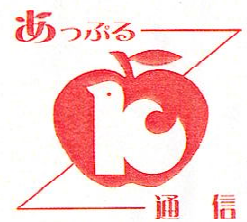


# あっぷる通信



## 小松整形外科医院発行

### 新築工事始まる。

小松整形の新築工事が7月末から始まりました。

新しい医院の概要をお知らせ致します。今までは、理学療法室が狭いため待ち時間が長くてご迷惑をおかけしましたが、今度は現在の二倍以上の広さになります。リハビリテーション機器も充実させますので、より効果的な訓練ができると思います。

病室は4人部屋が3室、2人部屋が2室、個室が3室になります。

トイレも車椅子用トイレもでき、ウォシュレット自動洗浄でより清潔に利用できようになります。

大変ご迷惑をおかけしている駐車場も、43台のスペースを確保しました。交差点からも少し離れるため出入りもスムーズに行えるものと思います。

新しい建物での診療は、来年二月を予定しております。



## 世間の常識ウン？ホントー！

「テープ療法について」

今回はテープによる治療について述べたいと思います。テープングとは関節にテープを巻いて関節を安定させ、けがを予防したりあるいは応急処置に用いられます。関節の靭帯が損傷されると関節がゆるくなつてスポーツ時に不安感や痛みのために力が発揮できなくなります。

アメリカの研究ではテープングをすることによって、捻挫の発生が明らかに減ることがわかりました。しかしテープングはあくまでも予防法であり、万能ではありません。実際運動を始めて20分ほどで効果は半減してしまうという報告もあります。テープングをしても無理は禁物です。

キネシオテープとは伸縮性のあるテープを障害部を貼ることによって痛みをとるといふものです。残念ながら科学的な説明がなされていないし、あまり研究もされていないようです。実際テープを貼ってみた人に聞いてみると効果があったという人もいればまったく効果がなかったという人もいます。おそらく心理的な効果ではないかと思えます。

本によると内科的な病気にも効果があるように書いてあります。あまり信用しないほうがよいと思います。

最近全身に格子状のテープを貼っている人を見かけることがあります。あれがスパイラルテープです。スパイラルテープはまったく『おまじない』以外のなにものでもないでしょう。いつまでも、痛みが続くときはきちんとした医療機関で調べましょう。

小松整形外科医院院長 小松 満



## お薬一ロメモ

《かかりつけ薬局をもちましよう》

小松整形外科で院外処方箋を発行して五年半になります。この頃は医薬分業が理解されてきたせいか、薬局への苦情は少なくなりました。

調剤をする場合、薬歴簿(薬局が患者さんごとに薬に関する情報を整理し記録したもの)を参考に、他の医療機関で処方されている薬と重複や相互作用はないか、過去にひどいアレルギーを起こしたような薬はないか等をチェックしたり説明したりします。もし、現在使用中の薬の名前がわからない時には持参されたほうが確かです。

また、『シップだけだから』と言って薬剤師の質問に答えて頂けない場合があります。前号の《いわゆるシップについて》でお話しした通り、シップも皮膚から身体に吸収される大事なお薬の一つです。ですから当然、他の薬との併用による相互作用やカブレだけでは無いアレルギーが起ることがあります。

かかりつけ薬局を一つ決めておけば、内科の薬、眼科の薬、整形外科の薬、歯科の薬、大衆薬、アレルギーや副作用…などご自分の薬に関する記録がすべて一か所にまとまります。薬局を上手に利用して、治療や健康管理に役立てて下さい。

いちげ薬局

薬剤師 黒澤 由子